



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 予選レポート

## 2022/7/16 Rd-6 FUJI SPEEDWAY

天候：雨 気温：21℃ 出走台数：21台

6月末に梅雨明けした関東地方は、その後の1週間 真夏の日差しに恵まれたが、後半戦を迎えた富士スピードウェイは、梅雨に逆戻りしたような雨天の予選となった。

朝から降り続く雨は強弱を繰り返し、午前中に行われたフリー走行も、豪雨により途中で赤旗中断となった。

予選開始の15時頃にも強雨が予想されたため、通常のノックアウト予選は30分間の計時予選として開催されることになった。

刻々と変わる雨量により、路面コンディションは目まぐるしく変化する状況。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING の牧野選手、大津選手は、とにかくコース上に留まり毎週アタックモードでタイムを削ってゆく。

開始から7分、クラッシュ車両が発生しセッションは赤旗中断。この間、牧野選手、大津選手共に車体バランスに修正を加えてセッション再開を待つ。

15時26分にセッションは再開されたが、この時雨脚は強まり、上位ドライバーで自己ベストタイムを更新するドライバーは現れず、コースを飛び出す車も出てくる状況。

更に残り7分といったところでストップ車両により赤旗中断され、セッションは残り時間6分37秒で再開。ところが再び雨脚は強くなり、残り1分29秒で三度の赤旗中断。

そのまま予選は終了となり、大津選手5位、牧野選手6位で予選を終えた。

#### 5：牧野任祐 選手 予選6位 HONDA 勢3位

路面コンディションが刻々と変わり、状況に合わせるのが難しい予選でした。

明日はドライコンディションになり、今日とは全く違う展開になると思いますし、菅生からのいい流れも自信につながっています。

大津選手とダブル表彰台で終えたいですね。

#### 6：大津弘樹 選手 予選5位 HONDA 勢2位

予選走り始めが一番路面コンディション良く、雨も強くなる予報でしたから、そこに集中して臨みました。感触は非常によく、タイム更新もでき、あの状況の中で出し切れたとは思いますが、もう少しアタックタイミングをずらすことが出来ればさらにいい結果が得られたとも思います。

明日の決勝、私も牧野選手も十分に優勝の権利があるポジションからのスタートです。

まずはスタートをしっかりと決めて、優勝を目指します。